

被爆80年・戦後80年 憲法はあなたの命と未来のパートナー

5・3 兵庫憲法集会

●音楽 川口真由美・島田篤

●メインスピーカー 畠山澄子さん (ピースボート)

主催： 戦争させない、9条壊すな！総がかり行動兵庫県実行委員会



ミニコンサート:川口真由美さんと島田篤さんの演奏



メインスピーカー:畠山澄子さん(ピースボート共同代表)の訴え



**プロフィール**  
ピースボート共同代表  
ピースボートは「ヒーリング・地球一周・平和・絆」の精神で、おりづるプロジェクトで世界中の教育プログラム「地図大学」に携わる。現在は立教大学や早稲田大学で校のプロジェクトを運営するほか、小中学生の国際理解教育ワークショップなど、平和や戦争をテーマに体験型・参加型プログラムを行っている。TBS「サンデーモーニング」にコメンテーターとして出演。



主催者あいさつ:羽柴 修弁護士



来賓あいさつ:井坂信彦衆院議員



来賓あいさつ:金田峰生さん



来賓あいさつ:米村明美さん

2025年(令和7年)5月4日 日曜日

## 「憲法で戦争にあらがう」

施行78年、神戸で護憲派集会



憲法記念日の3日、平和主義と護憲を訴える「戦争させない、9条壊すなー! 5・3兵庫憲法集会」=3日午後、神戸市中央区のみどりの原公園で開かれた。主催者募集で3500人が参加し、「9条を守れ」などと声を上げた。

（1面参照）



高校生平和大使の鈴木君



閉会:あすわか近藤弁護士



集会後参加者は、3コースに分かれて、神戸市内パレード



上で「戦争にあらがう憲法」を考えてきた経験を述べた  
表の畠山澄子さんが登壇。G-O-BITSボート共同代表として、非政府組織N

**5・3憲法アピール**

8月6日、広島、9日、長崎に原子爆弾が投下されたから今年で被爆80年、8月15日の終戦から戦後80年になります。

8月6日 ヒロシマで被爆した詩人の原民喜さんは、「...人類は戦争と戦争の冤にまじめ生を嘗むのであつた。原子爆弾の殺人兵器もそれが、直接の皮膚をやかなければ、その意味が感覚できないであつた。人間が人間を殺すくことに対する抗議は決たして無力に終わるであつうか」と語り結け、想い続けていました。

8月9日被爆直後の長崎を訪れた米軍カメラマン、ジョン・オダルさんは「焼き場にやってきた、やせ細り、ほほほほの服を着て、その背中に2歳にならない幼い男子の子を背中にこくりつけた少年の、涙も出ないほどの恵みに打ちしがれた顔を見守り、肩を抱くことを許をかけることでもないまま立ち尽くしていました」(『焼き場にて』)と記しています。

1945年8月15日終戦から80年経ちましたが、被爆ではある原さんや少年、幾千万の人びとの命をうばった戦争が、どのような目的で、どのようにして始まり、どのようにして止めることができたのか、その原因と責任について明かにし、二度と戦争を繰り返さないことを、核兵器を世界からなくすことが、私たちに求められています。

憲法9条は先の戦争で、人間の尊厳と自由を奪われた幾千万の人びとの命があがなわれた、平和と戦争のない世界への道しるべです。ウクライナやガザで起きていることをそらしてはいけない、耳をふさいではならないと思います。今、この時にも奪わつつある暮らしや人間の尊厳、一つひとついのちを想い、平和について考え続けてましょう。考え方で行動することは未来への希望につながります。

核兵器や戦争のない世界と未来は、今を生きる私たち、未来の子どもたちの願いです。

2025年5月3日 戦争させない、9条壊すな！ 5・3兵庫憲法集会